

未来へつなげる ～感動・絆・感謝～

なかま(20歳の仲間が)なう(今、ここで)おーる(二つにまとまり)

光あふれる七尾の未来へ希望をつなげよう

成人式とは、二十歳に達した子どもを、一人前の人間として社会的に認め、成人に達した人を祝う儀式である。昔の成人式にあたるものとして、男子は元服、女子は裳着などが挙げられる。

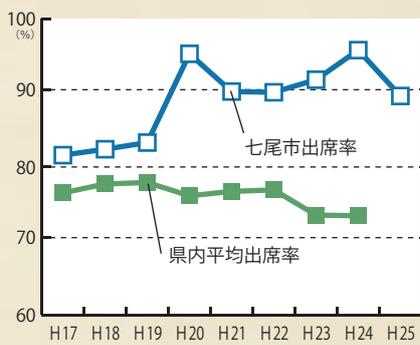
近年の成人式では、若者のモラルの低下による不祥事がマスコミで取り上げられ、話題となっているが、七尾市の成人式はどのように行われているのか。

七尾市の成人式は、毎年評価が高い。理由として、次のことが挙げられる。

一つ目は、主役である新人自らが成人式実行委員会を組織し、成人式開催までの企画や準備、当日の式典までを執り行っていること。このような取り組みは全国でも少なく、県内でも4市町のみである。

二つ目は、毎年その取り組みを続けている成果や、成人式実行委員会の想いが、新成人にも伝わり、高い参加率と

なっていること。毎年、成人式の参加率は9割を超え、県内でも飛び抜けている。



三つ目は、これまでの成人式でも、同世代の仲間が企画などに関わることで、参加者との一体感が生まれ、生涯一度きりの心に残る式典となっていること。

四つ目は、「ふるさと七尾」に、若人が一堂に集うことで郷土愛が生まれ、故郷が七尾であることを誇りに思い、成人としての第一歩を踏み出す機会にもなっていること。

今年の成人式に参加した新成人の皆さん、そして家族の皆さん、どうでしたか。良かったと思っていただければ、私たちメンバーは本当にうれしく思います。

私は実行委員となり、実行委員長に選ばれ、トントン拍子で事が進んだのですが、不安で仕方がありませんでした。でも、成人式を迎えることができ、無事に終えたことに、安堵感でいっぱいです。また、成人式に携わり、いろいろな人に支えられたことを感じます。そんな支えてくれた人たちに感謝の気持ちを伝えさせてください。

まずは、成人式実行委員会のみんな。こんな頼りない私を委員長に選んでくれてありがとう。それぞれが自分の仕事などで忙しいのにも関わらず、打ち合わせ

せに集まってくれたことや、チームワークで協力しながら準備を進めたことは、今では自信となり、いい思い出となりました。こんな情けない委員長に文句も言わず、ついて来てくれたこと、心から感謝しています。本当にありがとう。

次は、裏方に徹してくれた市役所職員の皆さん。どうしようもない私が委員長になることを賛成し、協力してくれました。本当にうれしく思いました。皆さんには、好きなことをたくさん言い、最後の最後まで迷惑をかけました。日常の仕事があること、忙しい時期であることも知っていました。そんなときでも、必ず私たちの準備の手伝いをしてくれました。本当にあり

がとうございます。最後に両親。いつも明るく、辛い顔を見せることがないお母さん。おかげで毎日、楽しく過ごせることができたと思います。これからも優しく見守ってください。最後にお父さん。時には厳しく、時には優しく、とてもけじめのあるお父さん。この先、生きていく上での目標であり、最大のライバルです。ここまで育ててくれてありがとう。

新成人のみんな、この日を迎えられたことに感謝して、一度は親にありがとうを言ってみよう！



実行委員長 久保 吉光さん



谷中 恭子さん

前田宗一郎さん

前田 貴志さん

山本 陵平さん

山本真奈江さん

実行副委員長
橋本 利恵さん

実行副委員長
中橋 元徳さん

山口明日香さん

最高の成人式を 実現した 成人式実行委員会 のメンバーたち

森 有香さん

戸田 健太さん

藤田 遙さん

百海 彩奈さん

野沢 美侑さん

河本 良一さん

澤野 柁樹さん

石川 洋平さん

それだけ、七尾市の成人式は、主役たちが自ら作り上げる式として評価され、誇り高きものとなっている。

七尾市には、このような素晴らしい成人式があり、そこから巣立つ凛とした若人たちがいる。そんな立派な若人たちを、大人は温かく見守り、時には手を差し伸べ、ともに地域社会で共感できる関係を築かなければならない。

そんな地域社会を築くことで、さらなる明るい未来が切り開かれ、夢が膨らむ七尾市となる。

全国成人式大賞

平成17年1月	奨励賞
平成18年1月	奨励賞
平成19年1月	準大賞
平成20年1月	大賞
平成21年1月	貢献賞
平成22年1月	貢献賞
平成23年1月	貢献賞
平成24年1月	貢献賞

このような七尾市成人式の取り組みの成果から、新成人式研究会が主催する全国成人式大賞では、準大賞や貢献賞を8年連続受賞。また、「ハイレベルな成人式間での激戦」といわれた平成20年には、日本一を獲得している。